

総務省

Ministry of
Internal Affairs
and Communications



February
2013
Vol.146

2月号

特集 無線LANの上手な使い方

無線LANって どんなもの？



MIC FOCUS

平成24年版 消防白書を公表しました!

地方のかがやき

消防団の力が地域の安全を守る!
火とともに生きる「やきもののまち」

愛知県 瀬戸市

今月の
キーワード

政府統計の総合窓口 (e-Stat)

【政府統計の総合窓口 (e-Stat)】せいふとうけいのそうごうまどぐち (いーすたつと)
各府省が公表する統計データを一つにまとめ、統計データの検索や統計データを使ったグラフ作成などをはじめとする様々な機能を備えた政府統計のポータルサイト。



■ 統計情報
データベース



(総務省「平成22年国勢調査」)

■ 統計GIS



(総務省「平成22年国勢調査」)



「e-Stat」は、これまで各府省のホームページでしか見ることができなかった統計データを、ひとつのサイトで見ることができる、ワンストップサービスを実現しているんだ。データを使ってグラフを作成する機能や地図上に表示する機能など、便利な機能を数多く備えているよ。

総務省

Ministry of
Internal Affairs
and Communications



February 2013 Vol.146
2013年2月1日発行

2月号

CONTENTS

3 キーワードで日本がわかる!
政府統計の総合窓口 (e-Stat)

4 特集 無線LANの上手な使い方
無線LANって
どんなもの?

MIC FOCUS

10 平成24年版
消防白書を公表しました!

MIC NEWS

14 第2次安倍内閣 (平成24年12月26日発足)
総務省の政務三役

16 平成25年住宅・土地統計調査
~標語 (キャッチコピー) 募集中~

18 世界国際電気通信会議 (WCIT) が
開催されました

地方のかがやき

20 消防団の力が地域の安全を守る!
火とともに生きる「やきもののまち」
愛知県 瀬戸市

実はここにも総務省
政府統計の総合窓口



詳しくは
となりのページへ

どんなことができるの?

統計GIS (地理情報システム)

さまざまな統計データを地図上に色分けして表示したり、グラフで表示できたりするほか、表示された地域を指定して集計ができるなど、統計データを地図上に視覚的に表すことで各地域のすがたを効果的にとらえることができます。

統計情報データベース

登録されている統計データから、必要な情報 (項目) だけを任意に選択して、表や人口ピラミッドをはじめとした、複雑なグラフを作成することができます。

e-Statを使って統計データを調べてみよう!

e-Stat 検索

<http://www.e-stat.go.jp/>

社会の情報基盤となる 政府統計データの提供

政府統計の総合窓口 (e-Stat) は総務省統計局が中心となって開発を行い、平成20年4月から運用を開始しており、平成23年度末時点での統計表の提供数は約50万表、平成23年度における統計表へのアクセス件数は約5000万件となっています。

統計利用者に対し、更なる利便性の向上を図ることを目的とし、平成25年1月にリニューアルされました。ユーザビリティを向上させること、より直感的に操作しやすいものとなつていきます。また、検索スピードを向上させることで、より快適な利用環境を提供します。さらに、アクセス数が多い統計表や、「キーワード検索」において、利用されたキーワードの中で多かったものをトップページ上にランキング形式で紹介するなど、統計により親しみやすいポータルサイトとなっています。

操作しやすくなった e-Stat で、さまざまな統計調査に触れ、統計を身近に感じてください。

特集

無線LANの上手な使い方

無線LANって どんなもの？

「無線LAN」は電波を使って情報をやりとりするため、ケーブルを気にすることなくインターネットに接続できます。最近ではパソコンのみならずスマートフォンからの利用も増えています。しかし便利な反面、適切な情報セキュリティ対策を取らずにいると、気がつかないうちに通信内容が盗み見られたり、ウイルスの配布等に悪用されたりすることがあります。

安心して無線LANを使うために、情報セキュリティ上の脅威やその対策を知っておきましょう。

無線LANって何？

無線LANとは、電波でデータの送受信を行う構内通信網（LAN：Local Area Network）のことです。LANとは、会社内や家庭内などでパソコンやプリンタなどをつないで、データをやりとりできるようにしたネットワークのことです。ケーブルの代わりに電波による無線通信を使うのが無線LANです。

無線LANを利用することにより、ケーブルを気にすることなく、どこで

も好きな場所に移動してインターネットに接続し、気軽にウェブサイトの閲覧やメールの利用ができるようになります。また、最近では公衆無線LANの整備も進み、駅、空港等の公共の場でも無線LANが利用できるようになってきています。

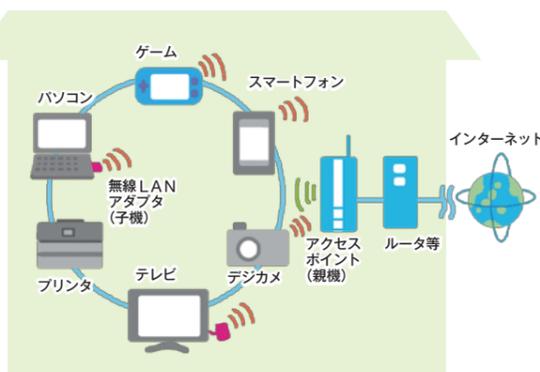
無線LANを利用するためには、親機（アクセスポイント）と、パソコンなどの端末に装着する子機が必要ですが、最近ではほとんどのノートパソコンやスマートフォンに子機の機能が内蔵されているため、親機があれば無線LANが利用できます。

【Wi-Fi】とは？

無線LANは、Wi-Fi（ワイファイ、Wireless Fidelity）とも呼ばれますが、これは無線LANの普及促進を行う業界団体Wi-Fi Allianceから相互接続性等の認証を受けた機器のことです。現在はWi-Fi認証を得た製品が増えたことから無線LAN全般を「Wi-Fi」と呼ぶことが多くなりました。

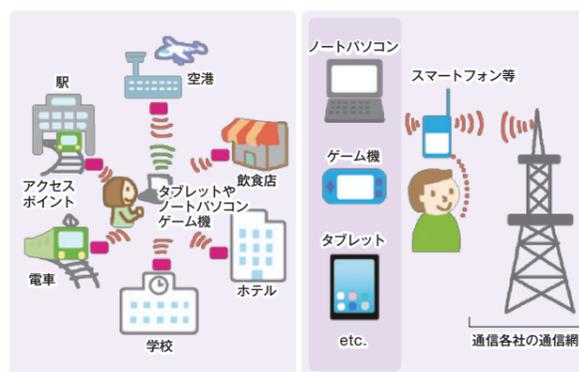
無線LANのしくみ

家庭内



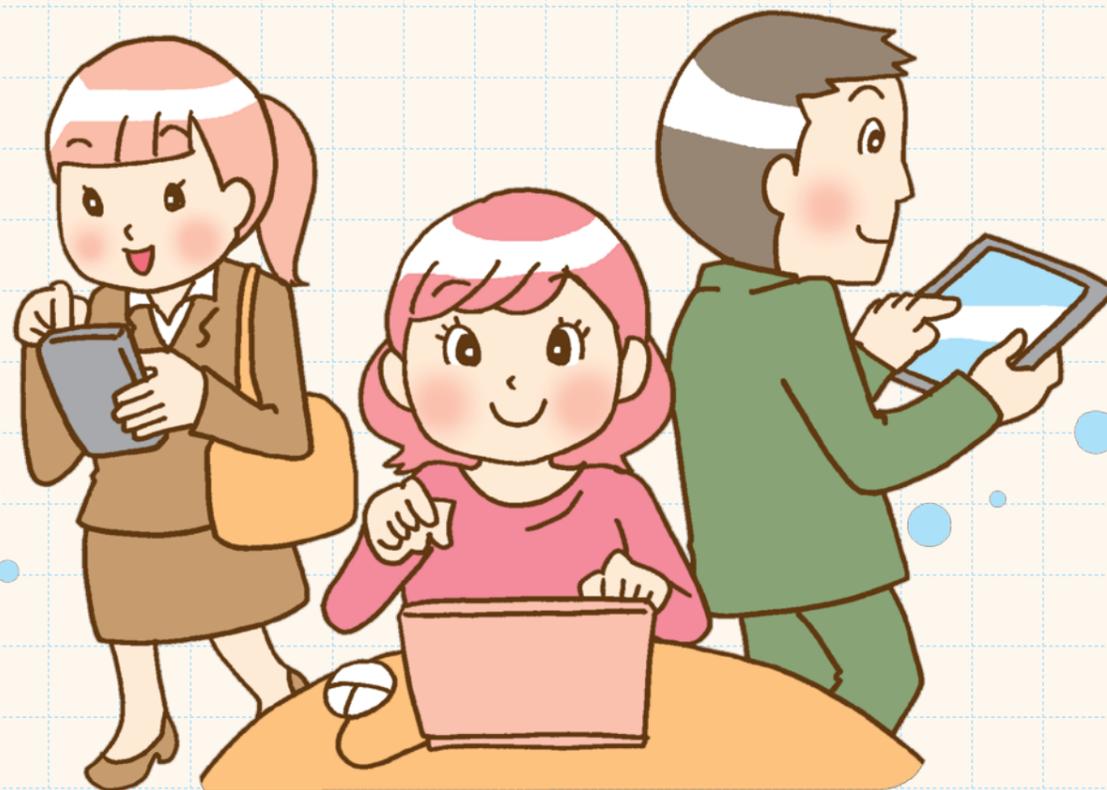
無線LANがあれば、家中どこからでもパソコンやゲーム機、スマートフォン、テレビなど、様々な機器からインターネットに接続することができます。

屋外



公衆無線LANを利用することにより、屋外でもインターネットに接続することができます。さらに、公衆無線LANが整備されていない場所でも、スマートフォンのテザリング機能[®]を利用することで、インターネットに接続することができます。

※スマートフォンを無線LANのアクセスポイントとして利用し、携帯電話事業者のネットワーク等を使って、無線LAN対応のパソコンやゲーム機等をインターネットに接続させる機能です。



約束

2

無線LANを公共の場で利用するときは、ファイル共有機能を解除



公共の場で無線LANを利用する際に、ファイル共有機能*が有効になっていると、他人からパソコンやスマートフォン内のファイルが読み取られたり、ウイルスなどの不正なファイルを送り込まれたりすることがあります。

そのため、ファイル共有機能の利用は、家庭内や職場のLANに接続したときに限るようにして、公共の場での無線LAN接続時には解除しましょう。

※ひとつのファイルをネットワーク上で複数の端末から利用できる機能です。スマートフォンは、OSによるファイル共有機能を有しませんが、アプリケーションによるファイル共有が可能です。

無線LAN情報セキュリティ 3つの約束



無線LANは電波を使って情報をやりとりするため、利用する上で適切な情報セキュリティ対策を取ることが必要です。また、スマートフォンは、設定によっては無意識に無線LANに接続されている場合もあるので要注意です。便利な無線LANを安心して利用するために、最低限取るべき情報セキュリティ対策「3つの約束」を守りましょう。

約束

3

自分でアクセスポイントを設置する場合には、適切な暗号化方式を設定



自分で設置したアクセスポイント(親機)でも、電波の届くところから気がつかないうちに通信内容が盗み見られたり、ウイルスの配布等に悪用されたりする危険性があります。

そのため、家庭の無線LANの親機やモバイルWi-Fiルーター、スマートフォンのテザリング機能を設定する場合には、WPAやWPA2と呼ばれる暗号化方式により暗号化*しましょう。その際、アクセスポイントと端末との間に設定する共通のパスワードは、ランダムで長いものにしましょう。

※その他、WEPと呼ばれる暗号化方式がありますが、容易に解読されるおそれがありますので、使用はおすすめできません。

約束

1

無線LANを利用するときは、大事な情報はSSLでやりとり

インターネットは、一般に通信内容を盗み見られる危険性があるものですが、無線LAN利用時には、ケーブルの代わりに電波を使っているため、その危険性が高まります。

そのため、ID・パスワード等のログイン情報、クレジットカード番号やセキュリティコード、暗証番号といった決済に関する情報のほか、プライバシー性の高い情報など大事な情報を無線LANでやりとりする場合には、SSL*により暗号化がされていることを確認しましょう。

※SSL (Secure Socket Layer)とは、信頼できるウェブサイトやサーバとの間で、インターネット上でデータを暗号化して送受信する方法です。SSLの使用はURLが「https」から始まっていることや、ブラウザに「鍵マーク」が表示されることなどで確認できます。



こんなトラブルにご注意!

適切な情報セキュリティ対策を取らないまま無線LANを利用すると、様々な危険が生じます。その例と解決策をご紹介します。

トラブル
3

PCに保存していた 個人情報が盗まれた!

Cさんは、外出先でインターネットに接続するため、持参したノートパソコンで公衆無線LANを利用した。その後しばらくして、頻繁にいたずら電話がかかってくるようになった。また、友人からインターネット上にCさんの写真や名前、電話番号等が書かれていることを教えられた。



解決策

Cさんは、ノートパソコンのファイル共有機能を有効にしていたため、同じ無線LANを利用していた他の人に、パソコン内の写真等を盗まれてしまいました。ファイル共有機能を有効にしていると、同じ無線LANを利用している端末を通して、端末内に保存しているデータを盗まれる危険性があります。公共の場で無線LANを利用する際は、ファイル共有機能を解除することが大切です。

トラブル
1

通信内容が 盗み見られた!

Aさんは、自宅に無線LANのアクセスポイントを設置し、インターネットに接続するために利用していたが、暗号化機能を使用していなかった。ある日、Aさんがメールでやりとりしている内容が、近所の人に知られていることが分かった。



解決策

Aさんは、暗号化をせずにメールをやりとりしていたために、内容が盗み見られてしまいました。無線LANは、電波により情報をやりとりするため、どんなウェブサイトを見たか、IDやパスワード、電子メールの内容等が、他の人に知られる危険性があります。アクセスポイントには適切な暗号化方式を設定し、大事な情報はSSLでやりとりすることが大切です。

不正アクセスポイントに 情報を盗み取られた!

トラブル
4

Dさんは、外出先でインターネットに接続するため、契約中の公衆無線LANサービスのアクセスポイントを探して、利用した。その際、「証明書エラー」が表示されたが、特に気にせずにIDとパスワードを入力し、インターネットに接続した。その後、Dさんのメールアドレスあてに大量の迷惑メールが届くようになった。

解決策

Dさんは、正しいアクセスポイントになりましたが不正なアクセスポイントに誤って接続したため、メールアドレスを盗まれてしまいました。不正なアクセスポイントに接続すると、IDやパスワード、電子メールの内容等が盗み見られたり、ウイルスに感染させられる危険性があります。公衆無線LANを利用する際は、ログイン画面に電子証明書エラーが表示されたら接続しないことや、接続しているアクセスポイントを確認することが大切です。



自宅の無線LANが 他人に利用された!

トラブル
2

Bさんは、自宅にアクセスポイントを設置して無線LANを利用していたが、複雑なパスフレーズを入力するのが面倒なため、「11111111」といった単純なパスフレーズを設定していた。しばらくたったある日、Bさんはインターネット掲示板に犯罪を予告する書き込みを行った疑いで警察に事情を聞かれた。その後の調査でBさんのアクセスポイントが無断で利用され、犯罪予告の書き込みに悪用されたことが分かった。

解決策

Bさんは、アクセスポイントのパスフレーズを簡単なものに設定していたため、容易にパスフレーズを推測され、他人に無断で無線LANを利用されてしまいました。アクセスポイントの不正な利用は、犯罪予告の書き込みやウイルスの配布などに悪用され、自身が犯人として疑われる危険性もあります。パスフレーズはランダムで長いものに設定するなど、適切に暗号方式を設定することが大切です。





避難階段
(静岡県沼津市提供)

津波避難対策の推進

東日本大震災の教訓を踏まえ、今後発生が懸念される南海トラフの巨大地震に起因する津波災害等に備えるため、地域における総合的な地震・津波対策を確立し、津波避難計画等の策定の推進が必要と

なっています。このため、消防庁では、以下のような取組を実施しています。

●市町村の津波避難計画策定の参考となる「津波対策推進マニュアル検討報告書（平成14年3月消防庁）」を平成24年度内に改訂し、地方公共団体に提示予定

●地方公共団体が実施する津波避難タワー、避難路・避難階段の整備、避難所における防災機能の強化等に対する財政支援措置を実施

携帯電話への緊急速報メールの例

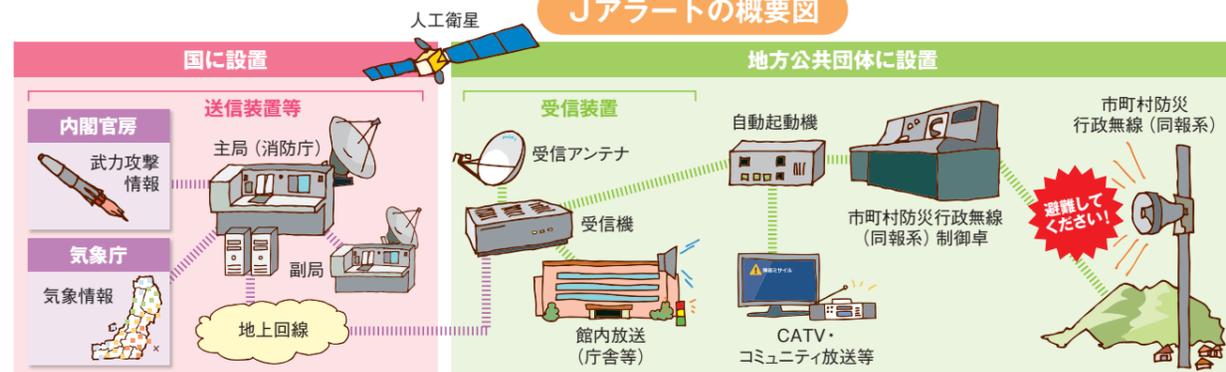
緊急速報「エリア」

避難勧告
こちらはエリア市です。昨日から降り続く大雨のため、エリア川が危険水域に達しました。また、土砂災害の危険度が高まっています。12時00分に市全域に対して避難勧告を発表しました。崖や川の近くなどの地区にお住まいの方は、早めの避難を心がけてください。
(エリア市)

災害情報等の伝達体制の充実

住民の安全確保を図るため、災害情報を確実かつ迅速に伝達することが極めて重要です。消防庁においては、①情報伝達手段の多重化・多様化、②迅速性に優れた情報伝達手段の確保を図るため、市町村防災行政無線（同報系）の整備の促進や全国即時警報システム（Jアラート）による迅速かつ確実な情報伝達の実施に向けた訓練等の充実を図っています。

Jアラートの概要図



平成24年版 消防白書を公表しました!

平成24年版消防白書では、第I部において、東日本大震災を踏まえた、消防防災体制に係る課題への対応について記述するとともに、第II部において、火災をはじめとする各種災害の現況と課題、消防防災の組織や活動等について記述しています。消防白書は、消防庁のホームページに掲載するとともに、政府刊行物サービスセンターや主要書店などでお求めいただけます。

第I部 東日本大震災を踏まえた課題への対応

- 第1章** 地域の津波避難対策の推進、住民への情報伝達のあり方 等
- 第2章** 大規模災害時の消防本部の効果的な初動活動や消防団員の安全対策 等
- 第3章** 緊急消防援助隊の車両や資機材の整備、出動計画の見直し 等
- 第4章** 危険物施設や石油コンビナート施設における地震・津波対策 等
- 第5章** 原子力施設等における活動対策マニュアルの見直しの支援 等
- 第6章** 震災を踏まえた研究計画の見直しと研究推進 等

第II部 消防行政を取り巻く現状と課題について

- 第1章** 火災予防行政の現況と課題、風水害や原子力災害等の各種災害 等
- 第2章** 消防機関の体制や活動状況、市町村消防の広域化、救急及び救助体制 等
- 第3章** 国民の保護に関する措置の概要、Jアラートの整備・高度化、北朝鮮のミサイル発射事案への対応 等
- 第4章** 国民の防火防災意識の高揚、地域における自主的な防災活動や防災基盤の整備 等
- 第5章** 国際消防救助隊の活動や開発途上諸国への消防技術協力 等
- 第6章** 消防研究センターが実施する研究開発や火災原因調査 等

その他のおもな災害における活動



福山市ホテル火災を踏まえた防火安全対策

ホテル火災を受け、消防本部において緊急調査を実施するとともに、調査結果において消防法令違反のあるものについては、重点的に是正の徹底を図っています。

風水害の発生

5月の茨城県等における突風や、6月の台風第4号など、各地で風水害が発生しました。

7月11日からの九州を中心とした大雨では、熊本県及び福岡県において、他府県の消防防災ヘリコプターによる広域応援や県内の消防相互応援協定に基づく救助活動等が実施されました。



データから読み解く消防白書

救急出動件数及び搬送人員

(各年中)

	平成23年	平成22年	増減数
救急出動件数(件)	5,711,102	5,467,620	243,482
搬送人員(人)	5,185,313	4,982,512	202,801
現場到着までの平均時間(分)	8.2	8.1	0.1
病院収容までの平均時間(分)	38.1	37.4	0.7

救急出動件数が過去最多に

平成23年の救急自動車による出動件数は、1日平均1万5,637件であり、5.5秒に1回の割合で救急隊が出動し、国民の25人に1人が搬送されたこととなります。

住宅火災による死者の推移



住宅用火災警報器の普及とともに住宅火災の死者は減少傾向

平成16年の消防法改正により設置が義務化された住宅用火災警報器の推計設置率は77.5%となっています。平成23年中の住宅火災による死者数は、平成17年に比べると、150人の減少となっています。

緊急消防援助隊の効果的な運用・施設整備等

長期に及ぶ活動を支援するための燃料補給車や、機動力・走破力を向上させた大規模震災用高度救助車等を整備しています。



緊急消防援助隊の野営状況(新潟市消防局提供)

消防職員の初動活動及び消防職団員の安全対策

大規模災害発生時における、消防本部の効果的な初動活動の方策を取りまとめ配布するとともに、消防職団員の安全確保のための装備の整備等の支援を行っています。



東日本大震災での岩手県大船渡市消防団の活動(大船渡市提供)

原子力災害への対応

福島原発の避難指示区域の防火対策として、簡易型防火水槽や火災監視カメラの設置等に対する財政支援を行いました。また、関係地方公共団体の地域防災計画の見直しなど、原子力防災体制の充実強化を支援しています。



火災監視カメラ(双葉地方広域市町村圏組合消防本部提供)

民間事業者における地震・津波対策

屋外タンク貯蔵所のタンクの規模や津波浸水想定等に基づく津波被害シミュレーションツールを作成するなど、危険物施設や石油コンビナート施設等における安全確保対策を進めています。



津波により屋外タンク貯蔵所の配管が破損しタンク内の危険物が流出した状況(仙台市消防局提供)

第2次安倍内閣（平成24年12月26日発足）

総務省の政務三役



総務副大臣

しばやま まさひろ
柴山 昌彦

昭和40年12月5日 愛知県生まれ

- 平成 2年 3月 東京大学法学部卒業
- 4月 住友不動産株式会社入社
- 平成 3年10月 住友不動産株式会社退職
- 平成 12年10月 弁護士登録（東京弁護士会）
- 平成 16年 4月 衆議院議員初当選（第43回衆議院補欠選挙）
- 平成 17年 9月 衆議院議員当選（第44回衆議院選挙）
- 平成 20年 8月 外務大臣政務官（福田改造内閣）
- 9月 外務大臣政務官（麻生内閣）
- 平成 21年 8月 衆議院議員当選（第45回衆議院選挙）
- 平成 24年12月 衆議院議員当選（第46回衆議院選挙）
- 12月 総務副大臣



総務副大臣 兼内閣府副大臣

さかもと てつし
坂本 哲志

昭和25年11月6日 熊本県生まれ

- 昭和 50年 3月 中央大学法学部卒業
- 4月 熊本日日新聞社入社
- 平成 2年 8月 熊本日日新聞社退社
- 平成 3年 4月 熊本県議会議員（4期）
- 平成 15年11月 衆議院議員初当選（第43回衆議院選挙）
- 平成 19年 7月 衆議院議員当選（第44回衆議院補欠選挙）
- 平成 20年 8月 総務大臣政務官（福田改造内閣）
- 9月 総務大臣政務官（麻生内閣）
- 平成 21年 8月 衆議院議員当選（第45回衆議院選挙）
- 平成 22年 9月 自由民主党国会対策副委員長
- 平成 24年10月 衆議院議員当選（第46回衆議院選挙）
- 12月 衆議院議員当選（第46回衆議院選挙）
- 12月 総務副大臣 兼内閣府副大臣



総務大臣 内閣府特命担当大臣（地方分権改革） 地域活性化担当 道州制担当

しんどう よしたか
新藤 義孝

昭和33年1月20日 埼玉県生まれ

- 昭和 55年 3月 明治大学文学部卒業
- 昭和 55年 4月 川口市役所奉職（11年間）
- 平成 3年 4月 川口市議会議員
- 平成 8年10月 衆議院議員初当選（第41回衆議院選挙）
- 平成 12年 6月 衆議院議員当選（第42回衆議院選挙）
- 平成 13年 1月 自由民主党運輸・交通関係団体委員長
- 5月 総務大臣政務官
- 平成 14年10月 外務大臣政務官
- 平成 17年 9月 衆議院議員当選（第44回衆議院選挙）
- 平成 17年11月 自由民主党国防部長
- 平成 18年10月 自由民主党国土・建設関係団体委員長
- 平成 19年 8月 経済産業副大臣（安倍改造内閣）
- 9月 経済産業副大臣（福田内閣）
- 平成 21年 8月 衆議院議員当選（第45回衆議院選挙）
- 平成 23年 1月 衆議院決算行政監視委員長
- 平成 24年12月 衆議院議員当選（第46回衆議院選挙）
- 12月 総務大臣 内閣府特命担当大臣（地方分権改革） 地域活性化担当 道州制担当



総務大臣政務官

たちばな けいいちろう
橋 慶一郎

昭和36年1月23日 富山県生まれ

- 昭和 59年 3月 東京大学法学部卒業
- 4月 北海道開発庁入庁
- 平成 元年 6月 ケンブリッジ大学大学院修了
- 平成 5年 9月 北海道開発庁退職
- 9月 伏木海陸運送（株）代表取締役副社長
- 平成 7年 9月 伏木海陸運送（株）代表取締役社長
- 平成 16年 4月 伏木海陸運送（株）代表取締役会長
- 5月 旧高岡市長
- 平成 17年11月 新高岡市長
- 平成 21年 8月 衆議院議員初当選（第45回衆議院選挙）
- 平成 24年12月 衆議院議員当選（第46回衆議院選挙）
- 12月 総務大臣政務官



総務大臣政務官

かたやま さつき
片山 さつき

昭和34年5月9日 埼玉県生まれ

- 昭和 57年 3月 東京大学法学部卒業
- 4月 大蔵省入省（主税局）
- 昭和 60年11月 フランス国立行政学院（ENA）CSE修了
- 平成 元年 7月 広島国税局海田税務署長
- 平成 10年 7月 横浜税関総務部長
- 平成 15年 7月 主計局主計企画官
- 平成 16年 7月 主計局主計官
- 平成 17年 7月 国際局開発機関課長
- 8月 財務省退職
- 9月 衆議院議員初当選（第44回衆議院選挙）
- 11月 経済産業大臣政務官（第3次小泉改造内閣）
- 平成 22年 7月 参議院議員当選（第22回参議院選挙）
- 平成 24年12月 総務大臣政務官



総務大臣政務官 兼内閣府大臣政務官

きたむら しげお
北村 茂男

昭和20年11月8日 石川県生まれ

- 昭和 43年 2月 衆議院議員公設秘書
- 3月 明治大学経営学部卒業
- 昭和 50年 4月 石川県議会議員（7期）
- 平成 17年 9月 衆議院議員初当選（第44回衆議院選挙）
- 平成 21年 8月 衆議院議員当選（第45回衆議院選挙）
- 平成 24年12月 衆議院議員当選（第46回衆議院選挙）
- 12月 総務大臣政務官 兼内閣府大臣政務官

あなたの作品がマスメディアを駆けめぐる! 平成25年住宅・土地統計調査の キャッチコピー応募の 締切せまる!



詳しくは、総務省統計局HPへ

総務省統計局

検索

<http://www.stat.go.jp>

募集内容

- 総務省統計局では、平成25年10月1日を調査日とする住宅・土地統計調査の実施に当たり、調査の意義や重要性への理解を深めていただき、全ての人の理解と協力の下に調査が正確かつ円滑に行われるよう、標語(キャッチコピー)を募集します。
- 入選作品はテレビ、新聞、ラジオなどの様々な媒体を通じて、広く活用する予定です。

応募条件

- どなたでも応募できます(総務省職員は除く。)
- 応募作品は、自作で未発表のものに限ります。
- 応募点数は、1人1作品とします。

応募方法・記載事項

- はがき又は電子メールに作品・氏名・性別・年齢・住所・電話番号・職業(小・中・高校生の場合は学校名、学年)を明記の上、下記の応募先まで送付又は送信してください。

応募締切

- 平成25年2月7日(木) 必着

審査・発表

- 一次審査は都道府県、二次審査は総務省統計局でそれぞれ厳正に審査を行います。
- 入選作品は2月下旬に総務省統計局ホームページなどに掲載するとともに、入選者に直接又は学校を通じてお知らせします。

賞(表彰状及び記念品)

- 特選1点
- 入選3点
- 小学生・中学生・高校生特別賞 各1点

作品の権利

- 入選作品の一切の権利は総務省統計局に帰属します。
- 入選作品は、作品の趣旨を損なわない範囲で一部修正することがあります。
- 応募作品は返却いたしません。

過去の入選作品

平成20年	見えてくる 日本の暮らし 住まいから
平成15年	夢がある 家・まち・くらし 調査から
平成10年	家と土地 暮らしのための 基礎調査
平成5年	豊かさは 住みよい環境 住まいから

昭和63年	豊かな住生活への道しるべ
昭和58年	街づくり わたしも協力 住まいの調査
昭和53年	たしかめよう 日本のすまい

応募先及び
お問合せ先

電子メール メールアドレス jyutakuhyogo@soumu.go.jp

はがき 〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

平成25年住宅・土地統計調査

～標語(キャッチコピー)募集中～

総務省統計局では、平成25年10月1日を調査日とする住宅・土地統計調査の実施に当たり、調査の意義や重要性への理解を深めていただき、全ての人の理解と協力の下に調査が正確かつ円滑に行われるよう、標語(キャッチコピー)を募集しています。

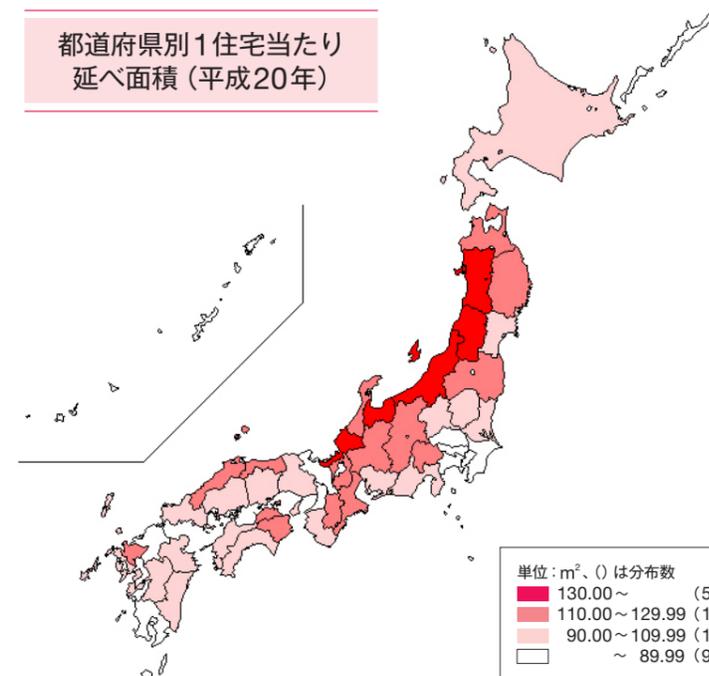


住宅・土地統計調査は、日本の住宅数、住宅の種類・設備状況、土地の保有状況や住環境などを調査し、私たちの暮らしと住まいに関する計画や施策の基礎資料を得ることを目的とした調査です。

その結果は、国や地方公共団体における「住生活基本計画」の成果指標の設定、耐震や防災を中心とした都市計画の策定、空き家対策条例の制定などに幅広く利用されています。

調査結果は、わたしたちの住生活の向上に役立っています

都道府県別1住宅当たり
延べ面積(平成20年)



住宅規模の大きい 日本海側の各県

都道府県別に住宅の広さを1住宅当たり延べ面積で見ると、富山県が151.37㎡と最も広く、次いで福井県147.99㎡、秋田県139.84㎡、山形県138.06㎡、新潟県133.76㎡と続き、この日本海側の5県が130㎡を超え、全国平均の94.13㎡を大幅に上回っています。

一方、最も狭いのは東京都の63.94㎡で、次いで大阪府74.78㎡、神奈川県76.46㎡と大都市を含む県が多くなっており、住宅規模が大きい日本海側の各県と明らかな対照をみせています。

世界国際電気通信会議 (WCIT)が開催されました

～サイバー空間に関する国際ルール作りを巡る議論の動向～



全体会合での投票の様相（12月13日）

平成24年12月3日から14日までの間、電気通信に関する国際連合の専門機関である国際電気通信連合（ITU）において、各国政府を法的に拘束する国際電気通信規則（ITR）を改正する世界国際電気通信会議（WCIT）が、アラブ首長国連邦で開催されました。

WCITには、151カ国

及び37団体から約1600名が参加し、ITR改正の交渉がされました。我が国からは、田中栄一総務審議官、関情報通信国際戦略局次長等が参加し、交渉に臨みました。

WCITでは、アラブ諸国、アフリカ諸国、ロシア等より、国によるインターネット規制、管理強化の必要性が主張され、インターネットへの

の国やITUの関与のあり方や、新たな課題のセキュリティや迷惑メール対策の国際ルール化が主な争点となりました。

改正文書は、途上国を中心とした支持により採択されましたが、米国、EU諸国、カナダ、オーストラリア

等の国は、採択された改正案はインターネット上の表現（コンテンツ）規制や検閲遮断等の規制強化につながりかねないなどとして署名しなかったため、署名国は89カ国にとどまりました。我が国としても、この改正案は国際的な共通認識が十分に形成されていないまま採択されたものと考え、署名を見送ることとなりました（55カ国が署名せず）。

WCITでは、サイバー空間の国際ルールの世界的な合意には至りませんでした。サイバー空間の国際ルールについては、国際連合やITU等の場で引き続き議論が続く見込みです。我が国としては、情報の自由な流通が確保され、インターネットの便益を利用者の方々が最大限に享受できるように、様々な場で引き続き国際的な共通認識の醸成に努めて参ります。

WCITにおけるITR改正の経緯

1990年、国際電気通信連合（ITU）において、国際電話業務に関する一般原則、接続料金の計算・精算方法等を定めた国際電気通信規則（ITR）が発効。 ※ITR：International Telecommunication Regulations

民営化、競争導入等、
電気通信を巡る環境の大きな変化

国際電気通信連合

ITU: International Telecommunication Union

- 電気通信に関する国連の専門機関。
- 193カ国が加盟。本部はジュネーブ
- 役割：①国際的な周波数の分配
②電気通信の標準化
③途上国に対する技術援助 等

2006年、ITUは、ITRを改正する会議（WCIT）を2012年に開催することを決定。

- 新興・途上国でのインターネット規制・政府管理強化の動き
- サイバーセキュリティの重要性に対する各国の意識の高まり

世界国際電気通信会議

WCIT: World Conferences on International Telecommunications

- 開催日程：2012年12月3日～14日
- 場所：アラブ首長国連邦・ドバイ
- 参加者：151カ国及び37団体から約1,600名

WCITでは、ITU等の国際機関がインターネットを管理すべきか否か、セキュリティを理由としたネットワーク遮断やコンテンツ規制などインターネット上の表現の自由への国家介入に繋がる規定を盛り込むかが主な焦点に。

改正の結果概要と我が国の対応

ITRの改正規定案に関し、交渉過程で当初の規制的表現自体はかなり弱められた。

しかしながら、最後まで米国、欧州諸国等とアラブ諸国、アフリカ諸国、ロシア等が対立したため、異例の投票により改正ITRが成立。

→ 我が国を含む、米国、欧州諸国を中心とした55カ国が署名せず。（署名国は89カ国）

我が国が署名しなかった理由

インターネットに関する国による管理・規制やインターネットへの国連機関の関与について、米国、欧州等先進国とアラブ諸国、アフリカ諸国、ロシア等の間に大きな考え方の相違があり、ITRのあるべき姿についての国際的な共通認識が未だ熟していない。

（参考）ITRに新たに盛り込まれた主な事項

<前文>

- 人権を尊重したITRの履行
- 国際電気通信サービスへの国のアクセス権

<本文>

- ネットワークセキュリティ対策（努力義務）
- スпам対策（努力義務）

■ その他の主な事項

- ① 携帯電話の海外ローミング料金（利用料金の透明性確保、競争促進）
 - ② 国際電気通信ネットワーク投資の奨励
 - ③ エネルギー効率化及び電子廃棄物（e-waste）
 - ④ 国際電気通信サービスへの障害者のアクセス促進
- ※あわせて、インターネットに対する国やITUの取組を求めた決議（元はロシアの提案）が採択。

※改正ITRは、2015年1月1日に施行。
署名しなかった国については、今後、改正ITRへの参加（同意）の通知を行わない限り、改正ITRは適用されず、現行のITRが適用。

愛知県 瀬戸市

地方の
かがやき

消防団の力が地域の安全を守る！
火とともに生きる「やきもののまち」

「せともの」で世界的に有名な、伝統あるやきもののまち。
そこでは、住民自らが率先して地域防災を担う、
地域密着型の消防団活動を活性化する取組を行っています。

撮影：宇賀神善之 写真提供：瀬戸市



1300年とも言われている、歴史ある瀬戸市の陶磁器産業。

陶器を焼成する際に使われる窯道具を積み上げて作られた「窯垣の小径」。

「せと・まるっとミュージアム」の中心施設である瀬戸蔵ミュージアム。おもてなしボランティアガイドが活躍している。

愛知県
瀬戸市



瀬戸市消防団の団員たち。左から安藤副団長、山田副団長、田中副団長、谷崎団長、塚本リーダー、會澤団員、堀田団員。

伝統ある やきもののまち

中部経済圏の中心地である名古屋市の北東20キロに位置する瀬戸市。やきものの原料となる良質な陶土を多く含む地層に恵まれていることもあり、古くから窯業がさかんなまちです。もともと「瀬戸で作られたやきもの」を指す「せともの」という言葉が、やきものの代名詞となっていることからわかるように、日本の陶磁器産業の中心地として、世界規模での発展を遂げてきました。

せと・まるっと ミュージアム

平成17年に開催された「愛・地球博」の会場となったことをきっかけに、「やきもののまち」としての伝統や風土を生かしながら、時代の流れと融合する新しいまちづくりを進める取組が始まりました。それが「せと・まるっとミュージアム」です。瀬戸市には、窯垣ややきもので装飾された橋、街角ギャラリーでの陶磁器鑑賞や、中心市街地に軒を連ねる陶磁器店でのショッピング、窯元でのやきもの体験など、歴史や文化に根差した瀬戸市ならではの地域資源が豊富にあります。これらをまるごと美術館や博物館のように見立てることで、観光客の回遊を促します。また、それを支えているのは、市民一人ひとりの「おもてなし」の心。誇りを持って観光客を迎えられるよう、市民が主体となって交流イベントや学びの場を作り上げています。

CITY PROFILE
人口：132,445人（平成25年1月1日現在）
面積：111.61km²
HP：<http://www.city.seto.aichi.jp/>

地域防災を担う消防団の活性化



平成17年から愛知県内で初めて導入された消防団緊急自動二輪車隊(赤バイ隊)。消防団のPRにも一役買っている。

1月13日に開催された出初式で勇姿を披露する消防団員たち。



サラリーマンには難しい昼間の活動をサポートするため、平成18年から消防団OBによる災害支援団員も活躍。



火を扱う職業に関わる職人が多い瀬戸市では、昭和22年の消防団結成以来、地域の業者を中心に、活発な消防団活動が行われてきました。現在、254人が12分団で活躍しています。

活動内容は、火災発生時の消火活動のほか、地域のお祭りなどでの警戒パトロールなど。まさに地域になくてはならない存在です。

しかし最近では、高齢化や市民のサラリーマン化により、団員数が減少しています。そこで、消防団活性化と団員数

の確保のため、平成22年から「ガンバレ消防団応援事業所」の取組がスタート。地域の事業所が、消防団のPRポスターを掲示したり、消防団員への各種サービスを提供したりすることで、消防団の認知度向上を図っており、現在216もの事業所が登録しています。これら事業所への呼びかけも団員一人ひとりの地道な努力によるもの。これらの取組は、総務省消防庁から地域ぐるみの取組の推奨事例として挙げられ、他の自治体からも注目されています。

女性消防団員の防火活動



ラッパ隊でも女性消防団員が活躍している。



子どもたちに防火の大切さを伝えるパネルシアター。紙芝居のストーリーや絵も団員たちの手作り。

瀬戸市消防団では平成17年3月から女性消防団が結成され、現在15人の女性消防団員が活躍しています。彼女たちの任務は、学校や地域団体、企業等での救命講習、高齢者世帯での防火診断、子どもたちに防火の大切さなどを教えるパネルシアターの公演など、災害を未然に防ぐ「防

災」の分野での広報活動がメイン。それぞれ、日々の仕事や家事などの合間を縫って活動しています。

女性消防団員たちは、面接を経て選ばれた精鋭です。「目の前で交通事故が起きたときに何もできなくて救命講習の大切さを痛感し、消防団に応募しました」と話してくれたのは、結成時から約8年活動を続けているリーダーの塚本さん。「救命処置の普及活動を通じて、地域の役に立っていきたいです」



中学生たちにわかりやすく丁寧に救命講習を行う女性消防団員。

地域全体で消防団をバックアップ ガンバレ消防団応援事業所

瀬戸市内のコンビニエンスストア店長 鈴木さん

瀬戸市消防団の活性化のため、3年前から「ガンバレ消防団応援事業所」として、店内での消防団PRポスター掲示や、団員割引のサービスを行っています。

きっかけは、地区の消防団の分団長に「消防団の活動を応援してもらえないか」と頼まれたことでした。仕事柄、自分が消防団員になるのは難

しいのですが、地域のために何か協力したいという思いから、喜んで参加させていただきました。

最近、中学生の頃から知っているお客さんが、団員証を提示してくれたんです。嬉しかったですね。地道な取組ですが、消防団員の方に喜んでいただき、少しでも消防団の盛り上がりにつながればと思っています。そし

て、その積み重ねがいざというときの力になると信じています。



店内に「ガンバレ消防団応援事業所」のポスターを掲示して、消防団のPRを行っている。

暮らしを見つめる! 統計調査!

国民の暮らしを見つめ、よりよい社会を実現するために、
総務省統計局では、さまざまな統計調査を定期的に行っています。

安定した「雇用」にも
役立っているんだね!



労働力調査

毎月実施

就業状況や完全失業率など「雇用」を明らかにする調査で
景気判断や雇用対策の立案に役立っています。



毎月の
「家計収支」が
わかるのね!



家計調査

毎月実施

世帯の収入や支出など「家計収支」を
明らかにする調査で
景気動向の分析などに役立っています。



小売物価 統計調査

毎月実施

小売価格など「物価」を明らかにする調査で
消費者物価指数(CPI)、その他物価に関する
基礎資料の作成に役立っています。



日本の「物価」が
明らかになるのね!



個人企業 経済調査

四半期ごとに実施

個人経営の事業所の「景気」を明らかにする
調査でGDP(国内総生産)の推計資料などに
役立っています。



「景気」を知るには
とても重要だね!

調査結果はさまざまな場面で活用され、わたしたちの暮らしを支えています。



皆様の個人情報情報は厳重に保護されます

「統計法」で、統計調査員には、厳格な守秘義務が課せられており、調査の内容が漏れるようなことはありません。



統計調査を装った「かたり調査」にご注意ください

統計調査員は「調査員証」を携帯しています。
不審に思われた場合は、都道府県統計主管課までお問い合わせください。

統計調査員がお伺いいたします。ご協力をお願いします。



総務省統計局・都道府県 <http://www.stat.go.jp/>

統計調査

検索